

## 事業計画書

①団体名	一般社団法人 mimoza
②事業名	食農教育を柱の「いのちの広場」プロジェクト
③テーマ区分	番号：8
④補助回数	<b>*同一事業における補助回数(年数)について、いずれかにチェック</b> <input checked="" type="checkbox"/> 1回目 <input type="checkbox"/> 2回目
⑤現状及び課題	不登校やひきこもりの人、複雑な問題を抱えている人への関わりの中で感じたことは、出会いとタイミングが合えば、行政の制度やサービスだけではどうにもならないことが、人ととの出会いによって少しづつ前へ踏み出すことができるということです。一人一人のすべての問題を解決することは時間も労力も必要ですが、少しづつ一歩を踏み出すための基盤を作っていくために、共に動き伴走しながらしっかりと向き合い、楽しく対話し、「ありがとう」の気持ちや言葉が行き交う地域を作っていくことが必要です。
⑥事業目的	不登校やひきこもりの人、複雑な問題を抱えている人だけでなく、井笠地域で暮らす誰もが、幸せを感じられるために人と人を繋ぐ仕組みを作ることを目的とする。 人間関係が希薄化している現代社会の様々な問題に、個々の人に寄り添いながら個別の伴走型の活動を継続的に実施する。 「食」「農」「地域」「自然」との関わりを基本に、農産物が「いのち」を育み成長していく過程に関わることにより、日常の暮らしと地域の営みとの関係、いのちと健康の尊さを学び交流・実践の場とする。また、教育の学び・健康の学び・福祉の学び・交流の学びの4つの学びの視点を持ちながら取り組みを継続することで、人ととの繋がりを持続可能な地域づくりとする。 【4つの学びの視点】 (1) 教育の学び ①食育と農業体験 ②自然環境とのふれあい ③地域活動への参加 (2) 健康の学び ①地産地消 ②食の安全性 ③農業体験での健康維持 (3) 福祉の学び ①青空ディサービス ②就労支援事業 ③心身やすらぎの場 (4) 交流の学び ①共生社会の実感 ②地域活性化 ③ボランティア活動の育成

<p><b>⑦事業内容</b></p>	<p>※備中県民局補助対象事業について、位置づけ（狙い）、概要、受益者（対象者）、実施地域、実施方法などを記載すること</p> <p>① 「いのちの広場」</p> <p>概要：「いのち」をキーワードに食農教育を交流ツールとした、多様な住民の交流・学習・実践の場をつくる。</p> <p>対象者：不登校やひきこもりの人、複雑な問題を抱えている人</p> <p>従事者：活動に興味関心のある方、mimoza職員</p> <p>実施方法：「クッキング広場」（毎週月曜日）  「トライ広場」（毎週火曜日）  「ボードゲームの広場」（毎月第1・3金曜日）  「ないしょの広場」（月2回・予約制）</p> <p>周知方法：チラシ配布・SNS活用</p> <p>② 「心の居場所勉強会」 年2回</p> <p>概要：個人によってそれぞれ違う居場所づくりについて勉強会やワークショップをとおして理解を深める活動を行う。</p> <p>対象者：不登校やひきこもりの人、複雑な問題を抱えている人</p> <p>従事者：活動に興味関心のある方、mimoza職員</p> <p>実施方法：ひきこもり経験者との交流会  ワークショップ</p> <p>周知方法：チラシ配布・SNS活用</p> <p>③ 「みんなで一緒に思い出つくろうプロジェクト」 年2回</p> <p>概要：「楽しい1日」の思い出づくり活動</p> <p>対象者：困難を抱えるひとり親家庭の人、不登校やひきこもりの人</p> <p>従事者：活動に興味関心のある方、mimoza職員</p> <p>実施方法：「サンセットファミリーディキャンプ」  「井原市初ボードゲームの祭典」</p> <p>周知方法：チラシ配布・SNS活用</p> <p>*天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応  対面での実施のため、事業の規模縮小や中止を検討する</p>
<p><b>⑧事業の条件及びアピールポイント</b></p>	<p>先進性、先駆性、独創性</p> <p>「食農教育を柱の『いのちの広場プロジェクト』」は、不登校やひきこもりの人、複雑な問題を抱えている人にとって、今までにはない取り組み活動です。</p> <p>「農」を中心とした活動としては、拠点施設「こもれびの杜」の近隣にある放置竹林を開墾し、「アグリガーデン」を作ります。野菜や果物の栽培は、社会参加の機会を提供し、自然との触れ合いに</p>

	<p>よる癒しを得るとともに、自尊心や自己肯定感の向上につながります。この活動は、高齢者と世代を超えた交流の場とし、双方に社会とのつながりを感じ、活気や自信を取り戻す効果が期待できます。</p> <p>こうした活動が先駆的であり独創的なプロジェクトと考えます。</p> <p>また、外出できないひきこもりの人に対しては、一人ひとりのニーズや状況に応じた、AIを活用した個別支援プログラムを開発・提供し、より効果的な支援と継続支援を可能とする活動です。</p>								
	<p><b>備中地域への波及効果</b></p> <p>備中地域内の他市町へ情報共有しながら新たな事業を展開することにより、不登校やひきこもりの人への理解を深め、地域力を高めていく活動に繋がります。また、プロジェクトの成果や活動内容をウェブサイトやSNS、専門誌などで積極的に発信し、他地域や団体への普及を図りノウハウの共有を推進します。</p>								
	<p><b>その他、団体の持つ専門性やノウハウ等</b></p> <p>元大工・左官・自動車営業マン・郵便局員・教師・保育士・心理カウンセラー・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・社会福祉士・看護師・精神保健福祉士など現役も含め色々な知恵・特性・専門性を持っている人材の宝庫の団体</p>								
	<p>①「いのちの広場」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催回数</th><th>内容</th><th>参加予定人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通年</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クッキング広場</li> <li>・トライ広場</li> <li>・ボードゲームの広場</li> <li>・ないしょの広場</li> </ul> </td><td>           各20人            各10人            各10人            各1人         </td></tr> </tbody> </table>	開催回数	内容	参加予定人数	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クッキング広場</li> <li>・トライ広場</li> <li>・ボードゲームの広場</li> <li>・ないしょの広場</li> </ul>	各20人 各10人 各10人 各1人		
開催回数	内容	参加予定人数							
通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クッキング広場</li> <li>・トライ広場</li> <li>・ボードゲームの広場</li> <li>・ないしょの広場</li> </ul>	各20人 各10人 各10人 各1人							
<p><b>⑨今年度の事業による直接の結果(アウトプット)及びその評価指標・評価方法</b></p> <p>※事業が複数の場合、事業ごとに分けて記載</p>	<p>②「心の居場所勉強会」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催回数</th><th>内容</th><th>参加予定人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2回</td><td>           ①ひきこもり経験者との交流会            ②ワークショップ         </td><td>各20人</td></tr> </tbody> </table>	開催回数	内容	参加予定人数	2回	①ひきこもり経験者との交流会 ②ワークショップ	各20人		
開催回数	内容	参加予定人数							
2回	①ひきこもり経験者との交流会 ②ワークショップ	各20人							
<p>③「みんなで一緒に思い出つくろうプロジェクト」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催回数</th><th>内容</th><th>参加予定人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回</td><td>サンセットファミリーデイキャンプ</td><td>50人</td></tr> <tr> <td>1回</td><td>井原市初ボードゲームの祭典</td><td>50人</td></tr> </tbody> </table>	開催回数	内容	参加予定人数	1回	サンセットファミリーデイキャンプ	50人	1回	井原市初ボードゲームの祭典	50人
開催回数	内容	参加予定人数							
1回	サンセットファミリーデイキャンプ	50人							
1回	井原市初ボードゲームの祭典	50人							
<p><b>⑩今年度に期待される成果・効果(短期アウトカム)及びその評価指標・評価方法</b></p> <p>※事業が複数の場合</p>									

合は、事業ごとに分けて記載	に対する理解を深めるとともに体制整備に向けたきっかけとなる。
⑪将来的に期待される成果・効果 (中・長期アウトカム)  ※事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記載	<p><b>事業参加者</b> 対象者が社会と接点をもつ機会を得て、次のステップへ向けて考えるきっかけができる。</p> <p><b>事業実施団体</b> 井笠圏域で活動する団体、支援機関、行政と支援ネットワークの構築へのきっかけができる。</p> <p><b>備中地域</b> 井笠圏域における理解者を増やすとともに、社会資源の拡充につながる。</p>
⑫事業継続化に向けた取組及び事業展開の予定 (資金確保の見通し等)	様々な活動を進める中で、井笠圏域の企業との交流により理解者を増やすとともに、パートナー企業を募り、共に活動を推進していけるような仕組みづくりを構築する。また、「心の居場所」としての場を井笠圏域に根付かせる。

<記入上の注意事項>

- 各項目は、簡潔かつ明瞭に記入してください。
- 「④補助回数」欄の2回目は、前年度に採択された事業を今年度も継続して実施する場合に選択ができます。
- 「⑤現状及び課題」欄は、事業実施の要因となる地域課題や問題点、社会的背景等について記入してください。なお、根拠となる統計データや当事者の声などがあれば、それも示してください。
- 「⑥事業目的」欄は、事業を通じて実現したいこと、目指す将来的な姿（社会、経済、生活、環境等）について、「⑤現状及び課題」、受益者（対象者）等を踏まえて記入してください。
- 「⑦事業内容」欄は、課題解決や「⑥事業目的」における位置づけ（狙い）とともに、概要、受益者（対象者）、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに具体的に記入してください。また、天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応（代替案の検討、事業縮小、事業中止等）についても併せて記入してください。なお、事業が複数の場合は、それぞれの事業ごとに内容を記入してください。
- 「⑧事業の条件及びアピールポイント」欄は、事業条件としている広域性又は先進性、先駆性、団体の持つ専門性やノウハウ等のアピールポイントについて具体的に記入してください。なお、先進性、先駆性は、他地域での先進例や成功例等もあれば、それも参考として記入してください。
- 「⑨今年度の事業による直接の結果（アウトプット）及びその評価指標・評価方法」欄は今年度の活動計画及びその評価指標・評価方法を記入してください。「⑩今年度に期待される成果・効果（短期アウトカム）及びその評価指標・評価方法」欄は事業実施により得られる今年度の利益や変化及びその評価指標・評価方法について記入し、「⑪将来的に期待される成果・効果（中・長期アウトカム）」欄は、事業を継続して行うことで、将来的に得られる利益や変化について記入してください。なお、事業が複数の場合、⑨、⑩、⑪は事業ごとに分けて記入してください。
- 「⑫事業継続化に向けた取組及び事業展開の予定（資金確保の見通し等）」欄は、「⑥事業目的」や「⑪将来的に期待される成果・効果（中・長期アウトカム）」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源確保の手法、事業継続の工夫等について記入してください。
- 記入箇所が不足する場合は、必要に応じて行挿入等を行ってください。